

あわゆず ふれず

第37号 2021年5月10日発行

伝えよう日本語を
広げよう徳島から



J T M と く し ま
日本語ネットワーク

持続可能な日本語支援活動への挑戦

～アフターコロナを見据え「今だからこそ」できること～

マスクやフェイスガード、飛沫感染防止シート…この1年の活動を収めた写真には、日本語を学ぶ人たちにとって理解を助ける口元や表情を、それらが覆い隠す顔ばかりが並んでいる。緊急事態宣言やとくしまアラート、まん延防止措置が発出されるたびに、ようやく再開した活動も休止を余儀なくされてきた。にほんご寺子屋に通う子どもたちや保護者、日本語サロンの参加者にその都度、休止を知らせる連絡をスタッフは繰り返した。日本語を学ぶ機会が少なくなるなか、限られた機会をつかもうと、レベルが合わないとわかっていても受講を希望する外国の人たちも少なくなかった。

一方、活動開始以来、23年間継続している月例日本語指導勉強会には、新聞の情報コーナーへの案内掲載を控えたにもかかわらず、見学希望の問合せが後を絶たなかった。外国人介護士を受け入れた法人からは、日本語の教え方講座に参加したいが、感染対策上難しいので、職員と一緒に日本語学習をするのにお薦めの教材があれば紹介してほしいという相談も受けた。

日本語を学びたい人、教え方を知りたい人は、その環境を脅かす新型コロナウイルスの脅威にも抗うほどの熱量を持っている。その熱意を肌で感じ、思いに応えたいという気持ちが、私たちにはおのずと強くなっていった。

方法を模索するなか、オンラインで日本語の授業ができないだろうかという声が上がった。非常事態宣言下の昨年5月、月例の運営会議をZoomで開催しようとなった当初、それなら会議に出席するのは無理だと言っていたメンバーも、リモート会議にだんだんと慣れてきた頃だった。できない理由は見当たらなかった。メンバーが情報収集をしてたどりついたのが、名古屋市の地域日本語教室向けに開催されていた「オンライン教室活動オーダーメイド研修会」で、講師は株式会社インカレックスのAYA（佐藤綾子）先生だった。JTMと同じ23年の歳月を日本語教育に情熱を注いでこられたことにもご縁を感じた。そうして3月13日、AYA先生から効果的なオンライン授業のノウハウを学ぶ研修が実現した。翌月には、さっそく実践に移すべく日本語指導部研修会をオンラインで行った。模擬授業を担当したスタッフは、初めての試みに戸惑いを覚えながらも、手応えを感じたようだった。

今年度、私たちは初めてのオンラインによる日本語教室「学ぼう！日本語、ちょこっと阿波弁」を、徳島県福祉基金助成事業として開催する。また、オンラインによる日本語指導のノウハウを継続して学ぶ研修会を、長年支援いただいている徳島中央ロータリークラブの「外国人と共に働き、共に生きる」支援継続プロジェクトの一環として計画している。

オンラインによる授業は、アフターコロナの時代になっても、教室が遠くて通えない、子育てや介護、仕事などで忙しく細切れの時間しかないなど、これまで学習環境が整わなかった人も、その機会を手にすることができる有効な手立てだ。オンラインによる日本語学習の機会創出や、そのノウハウを広め互いに指導力を高めることは、アフターコロナを見据えた「今だからこそ」私たちにできることに他ならない。

本年2月、JTMとくしまは、すべての人が暮らしやすい社会の実現に顕著な功績のあった団体として、徳島県「ユニバーサルデザインによるまちづくり賞（意識づくり部門）」を受賞した。コロナ禍において試行錯誤しながら持続可能な活動を模索してきたなかでの受賞は、とても励みになるとともに、この1年の取組みをとおり見出した活路を、これからどう開いていくのかが問われているのだと受け止めている。

(JTMとくしま日本語ネットワーク会長 兼松 文子)

2020年度JTMとくしま日本語ネットワーク 第1回定例会

オンライン日本語学習支援のための研修

～効果的なオンライン授業について学ぶ～

日時：2021年3月13日（土）10：00～12：00 形式：オンライン（Zoom）

講師：株式会社インカレックス取締役 AYA（佐藤綾子）氏

参加：18名

【本定例会は、とくしま県民活動プラザのNPO強化事業の助成を受けて実施しました】

2020年度は、新型コロナウイルスが世界中で蔓延し、外国人にとって直接日本語を学ぶ機会を失ったことは想像以上の痛手だったことでしょう。日本語学習を支援する者として、私たちが彼らにできることのひとつが「オンライン」での授業でした。そこで、授業のやり方を基本から学んで、効果的な授業をしたいという思いから今回の定例会が開催されることとなりました。

① アイスブレイク

最初に、「チャット」の使い方を学んだ。文字の入力や送信、保存の場所など基本的なことについて説明があり、その後一人ずつ前の人に続いて順番に文を入力して送る練習をした。これは、前に書いてある内容を理解してそれに続くストーリーを自分なりに考える「リレー作文」だった。また、「ホワイトボードの共有」を利用して、受講者の一人が描いたイラストを見て全員で「動詞」を考えた。イラストが書き足されるにつれて、様々な「動詞」を思いつくことができた。ゲーム感覚で一気に引き込まれ、とても効果的だったと思った。



② オンラインレッスンの効果的な教え方

1) オンラインと対面レッスンの異なること（事前課題・オンラインレッスン・事後課題）

オンラインレッスンの前後にメールなどを使って課題のやりとりをすることで学習者自身が主体的に学ぶ姿勢を引き出すことができる。「事前課題」では、指導者が翻訳文や自習の課題を事前に送り、意識づけをする。そして「オンラインレッスン」では会話練習を集中して行う。「事後課題」では、学習者が学習したことをWordファイルなどで指導者に送り添削を受けるとよい。日本語入力が苦手な学習者はノートに手書きした物を写真に撮って送る方法もあり、手書きにすると文字の間違いに気づきやすい利点があるようだ。また、課題として実際にインドネシアの学習者が作った動画が紹介され、自分で構成を考えて思いを伝える活動となっていた。学習者が自発的に行動することでより良い成果を上げていると思った。

2) 語彙を楽しく覚える（カテゴリーとストーリー）

語彙を機械的に覚えるのではなく、カテゴリー別にストーリー性を持たせることで記憶が定着することを学んだ。語彙を覚える時の4つのポイントも示された。「1. 揃ったりリピートをさせようと思わない！2. ミュートにして思う存分言わせよう！3. 一人ずつ言わせても飽きさせない工夫を！4. 頭を回転させよう！」である。特に次のようなことが印象に残っている。画面にイラストを順番に提示して語彙を言わせるのが普通のやりかたであるが、それを何度か練習し、その後イラストを見せずにその語彙を言わせたのである。講師がイラストを提示する前に、「次は」と声がけされた時、私はその語彙を思い出すのに頭をフル回転させた。

J T M 活 動

3) 学習者から引き出す会話 (学習者ファースト)

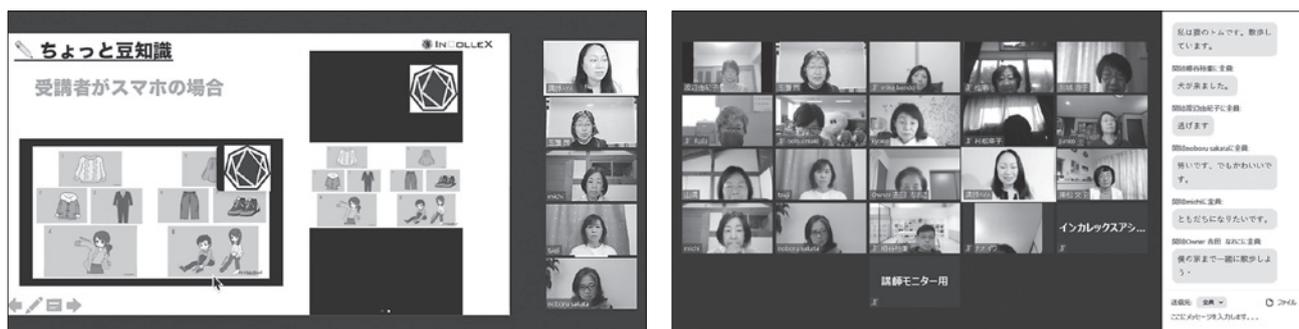
ここでは、「質問」と「発問」の違いについて学んだ。イラストを見せて「はい、いいえ」で答えられる質問をするのではなく「何が見えますか。どんな所ですか。どんな場面ですか。何と言いますか。」等の「発問」をすることで学習者の多様な答えが引き出せる。また、「ブレイクアウトルーム」を使えば少人数で話し合うこともできるので、学習者それぞれの思考が深まり、わからないことや言葉を能動的に知りたい気持ちが高まる。また、会話はなんとなくできるが文法が不正確な学習者には「会話を導入に使い、文法学習につなげる」というトップダウンが有効だとわかった。

4) 日本語学習支援者は何を教える? (学習者に寄り添う)

日本に住む外国人は様々な状況の中で生活をしている。そして、必要とする日本語支援の内容は人それぞれで異なる。こうした人々に日本で生活するために必要なコミュニケーション力を身につけるための教材として、日本語支援のWeb教材、『いろいろ』(国際交流基金)の紹介があった。

研修を終えて

日本語支援を続けてきて必要に迫られてパソコンに向かうことはあっても、デジタル機器の利用には積極的になれずにいました。しかし、今回の「オンライン日本語学習支援のための研修」を受講し、わかりやすい解説をしていただき苦手意識が薄れました。おかげで何か学習教材を作ってみたい、今回学んだことを日本語支援の場で生かしていきたいと思うようになりました。(吉田 尚子)



講師紹介



AYA先生

- ・日本語教師・ICX日本語教育コーディネーター
- ・外国人向け日本ビジネスマナー講師・インストラクター
- ・一般社団法人日本ビジネス能力認定協会認定講師
- ・2級心理カウンセラー

国内外の外国人人材への日本語やビジネスマナー研修や日本語教師へのスキルアップ等の研修を実施している。また、海外日本語教育機関へのコンサルティング、日本企業への異文化間コミュニケーション研修等の学びを通じた日本と海外の架け橋役を担っている。最近では、日本全国の自治体、地域の日本語教室へのZoomを使ったオンライン日本語レッスンの効果的な教え方等の研修にも携わっている。

アンケートより

- 「チャット」や「ホワイトボード」など初めて挑戦することばかりだったが、先生の優しい指示や説明のおかげで、焦ることなく挑戦できた。
- 講義を受け、対面授業とオンライン授業は基本的な授業の進め方や心構えなどはあまり変わらないと実感できた。
- 日本語指導のベテランの先生だったので、日本語指導の上での困りごとやポイントの指示が明確で勉強になった。
- Zoomの機能を効果的に使う方法や、対面とオンラインの違いもとてもわかりやすく教えていただいた。
- 「語彙を楽しく覚えるポイント」「学習者から引き出す会話」など、学習者自らが言いたいことを言葉で言えることが大事であることが、強く心に残った。

2020年度に行われたJTM主催日本語講座

●日本語教室「話そう！わたしの気持ち・わたしの考え」

日時：2020年11月10日～2021年1月28日 週2回（火曜日・木曜日）18：30～20：30

場所：ふれあい健康館 第3会議室

令和2年度徳島県福祉基金助成事業から助成金をいただいて「日本語教室 話そう！わたしの気持ち・わたしの考え」を実施しました。申込者は8名でしたが、結局継続して参加できたのは5名でした。5名の方は皆さん熱心で、また、初対面の人ともすぐ打ち解けて、和気あいあいとした授業となりました。日本滞在歴が長い人が多くて、この教室の目的に合っていたのではないかと思います。

内容は、会話中心の『日本語集中トレーニング』（アルク刊）を教材にして、学習者一人ひとりから自分の思いを引き出すことを念頭に進めていきました。文法や表現なども取り入れましたが、その文法や表現が実際の会話に取り入れられるようにと考えて授業を行いました。わたし自身にとっては、新しい教材で、いちから作り上げていくことができ、学習者が少なかったことでその分一人ひとりに寄り添って進めることもでき、実り多い授業となりました。

終了時に感想を聞いたところ、来年度この授業があるなら「年末は忙しいから9月ぐらいから始めて欲しい」「会話やシャドーイングをもっと増やして欲しい」「ニュースを読みながら文法、単語などを学べるクラスを希望する」といった意見がありました。また、「少人数だったのでよかった」「みんなの会話が面白くて楽な気分で勉強できた」「とても楽しかった」などの感想も多く寄せられました。（長町 順子）



●『こんにちは とくしま』の教え方講座

日時：2021年2月6日～2021年3月6日 週1回（土曜日）10：00～16：00

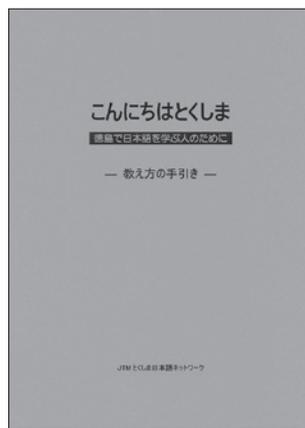
場所：とくしま県民活動プラザ

毎週土曜日10時から16時まで全5回、JTMオリジナルの日本語教材『こんにちはとくしま』を使って、外国人を受け入れている企業の方に、日本語の指導法を学ぶことができる講座として開講しました。

しかし、開講準備を始めたころは、日本中がコロナの第2波が大きくピークを迎えたころで開講することにはかなりの不安もありましたが、サーキュレーターや講師の前に置く大きな衝立を準備し開講することを決めました。コロナ禍の中、企業からの申し込みはなかったのですが、日本語指導にすでに携わっている方からの申し込みがありました。

この講座を開講するにあたり作成した『こんにちはとくしま』の教え方の手引きに加え、講座に即した「講義ノート」も新たに作成し授業しました。

受講者の方たちはとても熱心で、指導する私たちも準備に時間をかけ、万全の態勢で臨みました。最終日の午後には外国人2名に学習者として来ていただき、30分～40分のデモ授業を行いました。午後からの授業の発表には兼松会長も差し入れ持参でオブザーバーとして参加し、受講者の皆さんの素晴らしいデモで盛り上がりました。指導者の私たちも大いに勉強をさせてもらった講座でした。（玉置 房）



J T M 活 動

にほんご寺子屋

にほんご寺子屋は毎週日曜日、トピア（とくしま国際戦略センター）で13時30分から14時30分まで個人学習を、14時30分から15時まで全体学習を行っています。

本年度の開催はコロナ禍で2か月遅れ、また県内の感染状況を考慮して1年半ばから2月末まで一時休止となりました。開催回数は計23回、延べ134名の外国にルーツを持つ子どもと保護者が、マスク着用、検温等の感染対策をしたうえで、それぞれのニーズに応じた日本語・文化・教科の学習をしました。



春休みにほんご寺子屋（職場体験学習）

日 時：2021年4月6日（火） 12：30～17：00

訪問企業：株式会社フジタ建設コンサルタント

共 催：徳島中央ロータリークラブ

コロナ禍で2年ぶりの開催となった職業体験学習には、小学2～6年生の4名の子どもたちが参加しました。訪問した(株)フジタ建設コンサルタントは人々の生活を支える土木建設や環境に関する測量・調査・設計等の事業を行っている会社です。子どもたちは、用意してきた質問をもとにモニターカメラを介して別室にいる社員の方にインタビューを行いました。また、作っていただいた名刺で名刺交換し、社員の方と消毒作業をしました。それからドローンシミュレーター・CAD・3Dデザインの操作も体験しました。子どもたちそれぞれに大きな学びがあったことと思います。温かく迎え入れてくださった皆様に感謝いたします。
(渡辺 由紀子)



日本語サロン

日本語サロンは、毎週月曜日10時30分から12時までクレメントプラザ6階のトピア（とくしま国際戦略センター）で行っています。昨年は、コロナが感染拡大したため、3月に1回行ったあと休止となり、6月1日から再開しました。今年は、1月に1回開催した後、休止にしました。その後、3月から検温・手指の消毒・アクリル板の利用など予防対策をとり活動しています。サロンでは、大人の外国人を対象にそれぞれの希望を取り入れて、マンツーマンを基本として日本語の指導・支援を行っています。

仕事の休みの日や仕事の合間を利用してサロンに来る外国の方々の熱意やその姿勢に頭が下がります。このサロンでの勉強がこれからの人生に少しでも役立つことを願い、スタッフ一同、笑顔で楽しく活動しています。
(坂田 優子)

日本語指導勉強会

月1回開催の日本語指導勉強会は、コロナウイルスと台風の影響で、今年度は7回の開催でした。緊急事態宣言解除後の6月から再開し、コロナ禍での活動をどうするかを話し合いました。その結果、広い会議室を借り、3密にはならない条件が整えられるなら行うということで、開催することになりました。通常なら掲載依頼する新聞での開催の案内をしませんでしたが、勉強会を開くたびに見学者の参加がありました。7回の勉強会で、会員のべ62名、見学者15名の参加がありました。身近なところで外国人が増えていることもあり、日本語指導に関心を持っている人も多くなってきたのだと思います。私たちは学習者が一日でも早く日本語を身につけられるように、日本語の指導力向上を目指して活動しています。
(竹治 博)

学校支援

2011年度から徳島県教育委員会とともに外国にルーツを持つ子どもたちへのサポート事業を始めました。支援要請のある学校へ出向き日本語の指導を行っています。2020年度は県内で73名の支援要請があり、そのうちの53名（小学生44名中学生7名高校生2名）を学校支援チームの14名で担ってきました。基本的に取り出し授業をマンツーマンで行い、その子の状況に応じたきめ細かい支援を行っています。

今年度は新型コロナ対策をどのようにするか、予めチームで意見やアイデアを出し合い、手指消毒、マスク着用はもちろんのことアクリル板の設置や机の消毒や配置の工夫、スムーズな換気の仕方など万全の態勢で臨みました。また、毎月の報告をチームで共有することで情報交換を行い、より良い支援につなげています。

(杜 美智)



2020年度 写真で

日本語サロン



日本語指導勉強会



日本語指導部
研修会



ステップアップ
講習会



徳島県委託
夏休み子ども日本語教室



にほんご寺子屋



春休みにほんご寺子屋
(職場体験)



綴る JTMの活動



JTM主催 日本語講座

日本語教室「話そう!わたしの気持ち・わたしの考え」

『こんにちは とくしま』の教え方講座



公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会主催 日本語講座

企業・法人向け
日本語能力試験N3対策講座

外国人のための
日本語能力試験N2対策講座

外国人のための
自動車運転免許取得支援講座



令和2年度徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくり賞

〈意識づくり部門〉受賞



多文化共生社会のための外国人への日本語支援および地域交流活動実施の功績・功勞に対して表彰いただきました。

他にもこんな活動をしています。

- 徳島県国際交流協会「日本語教室」日曜日担当
- 学校からの要請による日本語支援
- 徳島文理大学「日本語能力試験N1対策講座」担当
- 企業での日本語教室「日本語初級会話教室」
- プライベートレッスン
- 定例会
- 「運営会」月1回(Zoomで会議)
- 機関誌「あわゆずぶれす」発行
- 会報「スマイル通信」毎月1回発行

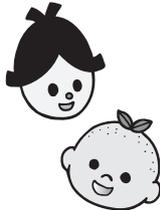
INFORMATION

◆会員数(2021年3月31日現在) 正会員数41名 協力会員数4名
 ◆入会随時受付中! 正会員…会の活動に参加し、ともに運営を行います。
 協力会員・団体…会の活動を支援する個人または団体

活動紹介

ブラッシュアップのために

- ◇日本語指導勉強会
 *毎月第2土曜日13:30~15:00
 〈模擬授業と意見交換〉日本語に関心のある方
 ならどなたでも参加できます。
- ◇日本語指導部研修会
 *毎月第2または第3土曜日
- ◇ステップアップ講習会
 *毎月第2または第3土曜日
- ◇定例会



日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン
 *毎週月曜日10:30~12:00
 とくしま国際戦略センター(トピア)

にほんご寺子屋

- *毎週日曜日13:30~15:00
 とくしま国際戦略センター(トピア)

『こんにちは とくしま』の教え方講座

- 2021年2月6日~3月6日(全5回)
 *毎週土曜日10:00~16:00

徳島福祉基金助成金事業

日本語教室「話そう!わたしの気持ち・わたしの考え」

- 11月10日~2021年1月28日(全20回)
 *毎週火・木曜日18:30~20:30

主催 公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

読解力を高めるための日本語講座
 (自動車運転免許取得支援講座)

- 9月3日~12月3日(全14回)
 *毎週木曜日18:30~20:30

日本語能力試験N2対策講座

- 9月28日~11月30日(全18回)
 *毎週月・木曜日9:30~12:00

働く外国人のための日本語能力試験N3対策講座

- 9月27日(日)~11月29日(日)(全10回)
 *毎週土または日曜日9:30~16:15

日本語レッスン

◇プライベートレッスン・グループレッスン

- *詳しくは事務局またはレッスン専用メール
 jtmtoke-lesson@mbk.nifty.com まで。

JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima こんにちは とくしま

徳島で日本語を学ぶ人のために



2020年2月
 「教え方の手引き」発行

子どもと暮らすための こんにちは とくしま

徳島で子どもを育てる人のための日本語教材



- ・全12課
- ・季節や身近な場面に合わせてどの課からでも学習できます。
- ・子育てを通して、まわりの人とうまくコミュニケーションできるようになるための表現が学習できます。
- ・学校の通知文の読み方や返事の書き方の練習ができます。
- ・生活情報がクイズ形式で学習できます。
- ・学校や生活に役立つ情報が得られます。

●ご購入・お問い合わせ JTMとくしま事務局

ご支援をいただきました

- ・徳島県福祉基金より助成金をいただきました。
- ・とくしま県民活動プラザよりNPO強化事業助成金をいただきました。
- ・国際ロータリー第2670地区ロータリー財団委員会および徳島中央ロータリークラブより補助金をいただきました。
- ・国際日本語普及協会により、外国人学齢向け教材『かんじだいすき』『生活漢字かるた』等をいただきました。

あ と が き

この一年、コロナ禍での活動は物理的にも精神的にも苦難を強いられるものではありませんでしたが、JTMがもともと持っていた強い絆と前向きな行動力が発揮された一年でもありました。この一年の私たちの思いが詰まった「あわゆずぶれす」をご覧ください。幸いです。

(加村 匡子)

発行/JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者/兼松 文子

編集責任者/山満十糸子

編集スタッフ/加村 匡子・玉置 房・辻 暁子・長町 順子

村松 幸子・杜 美智・細谷 裕重

印刷/徳島県教育印刷株

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2階

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会内

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113

E-mail jtmtoke@nifty.com

URL <https://jtmtoke.com/>

<https://www.facebook.com/jtmtoke/>